

Szarkowski, John. *Mirrors and Windows: American Photography since 1960*. Museum of Modern Art, 1978.

・ MoMA、Cleveland Museum of Art、Walker Art Center, Minneapolis, Minnesota、J. B. Speed Art Museum, Louisville, Kentucky、San Francisco Museum of Modern Art、University of Illinois, Krannert Art Museum, Champaign, Illinois、Virginia Museum of Fine Arts, Richmond, Virginia、Milwaukee Art Center を 1978 年～1980 年に巡回。

・ 1960 年から現在の間に注目された 127 枚、それ以前——アンセル・アダムズ、ハリー・キャラハン、アーヴィング・ペン、アロン・シスキンド、フレデリック・ソマーなどは除外。

・ 自己表現型か、探求型に区分した展示→写真の表現をめぐる扱いから写真自体への扱い（アジェ展）へ

・ まず 50 年代のアメリカ写真の動向について

・ パブリックなモノからプライベートなモノへの関心の移行がまず大きい

・ 四半世紀の間雑誌が写真の最良の部分を提供する上で重要な役割を果たしていたとみなし、雑誌の役割と変化について語っている。（11-12）

・ 1960 年代頃に、シリアスな写真家とアマチュア写真家の文化が始まったと、シャーカフスキーは考える。そのころから写真家たちが雑誌に応じるのではなく、自らのスタイルの模索を重視し始めた。

・ 雑誌のトップダウン式の仕事と官僚主義的政策システムの問題を挙げる。

・ 雑誌の凋落について言及、諸々も外的要因とともに写真の質の低下について指摘し、アーバスの心理学的な特質を持った写真の重要性を提示する（13）

・ 雑誌はひとつのプロ的写真の場の消失であったが、実際、それが唯一の場ではない（14）

・ As the making of photographs became easy, and as this fact came to be understood, attention slowly shifted craft to content. (14)

・ 大学での写真教育

1940 年代に入って、写真が大学で学ばれるようになり、職人的な芸術学校の領域に関わるようになった。（15）

・ 1960 年代に入ってそうした大学での写真の学びは一気に上昇した。（15）

・ ここでは、「写真家」という肩書にはこだわらない。（16）

・ 1950 年代の重要な出来事——Aperture の創刊（1952）、The Family of Man 展（1955）The Americans 出版（1959）——のなかでは、The Family of Man 展が大衆的に成功した。（16）

・ The Family of Man において、個々の声が失われていることの写真家からの声に言及する。同展は、最後で最大の写真によるグループ報道の在り方を示している。（16-17）

・ Aperture が、スティーグリッツ、ウェストン、アダムズらに見られる写真の美的作用を伝統とするのに対して、The Americans は社会や文化に対する鋭い批評性を写真の特質とする。

